

SHIONOGI BUSINESS REPORT

2023年度 第159期 上期 2023年4月1日～2023年9月30日 証券コード：4507

株主の皆さまへ

SHIONOGIは、常に人々の健康を守るために必要な最もよい“薬（ヘルスケアソリューション）”を提供するという使命を果たすため、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により激変した環境下で、COVID-19関連の研究開発に8割のリソースを集中させるという、大胆なリソースシフトを断行しました。そして、多くのステークホルダーの皆さまからのご理解と激励にお応えすべく、この3年間で治療薬の提供など重要な「成果」につなげるとともに多くの「学び」を得ました。その経験を活かし、2023年6月には、SHIONOGI Group Vision（2030年Vision）の実現に向けて中期経営計画STS2030 Revisionを新たに発表しました。

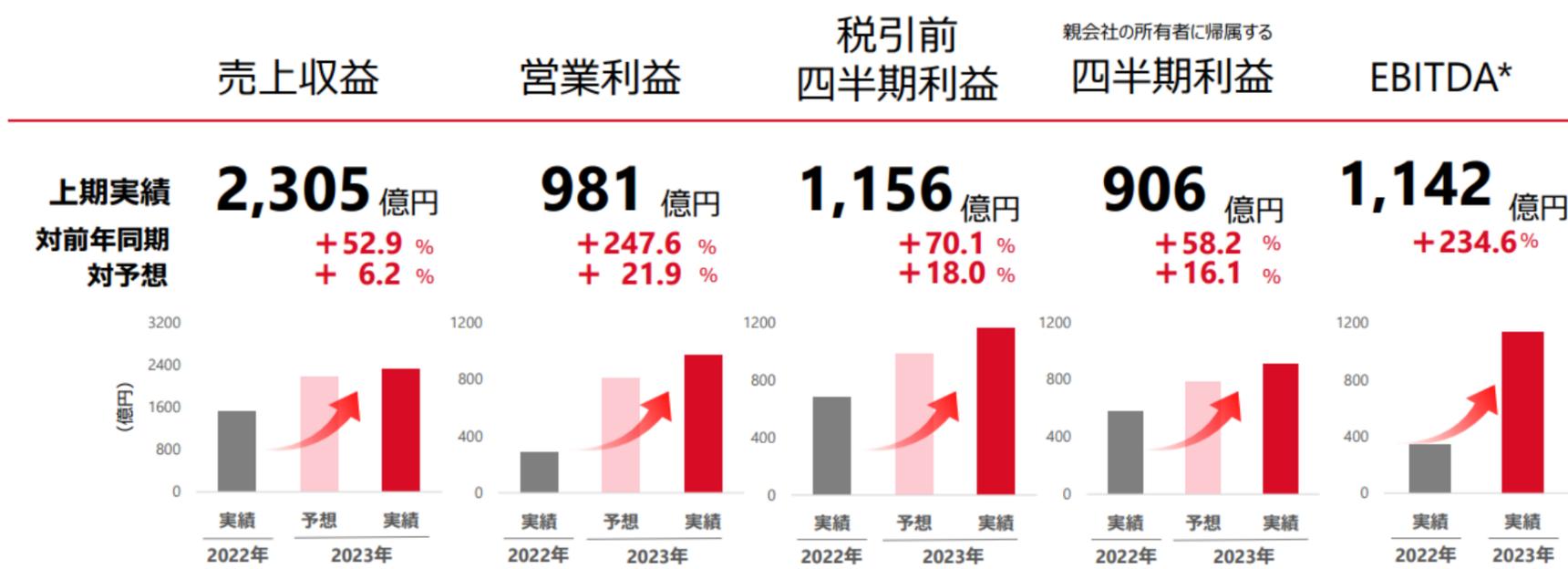
私たちは、ヘルスケアを取り巻く社会課題の解決のために不断の努力を行うことで、真のグローバル企業として成長し続けることを目指しています。株主の皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



手代木 功

2023年度 上期業績結果

売上収益および、すべての利益項目で過去最高を達成



* Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation, and Amortization：営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整し、減価償却費を加えた利益

2023年度第2四半期の業績は、売上収益およびすべての利益項目において、前年同期比で増収増益となり、対予想でも大きく超過しました。上期として売上収益、各種利益は過去最高を更新しました。

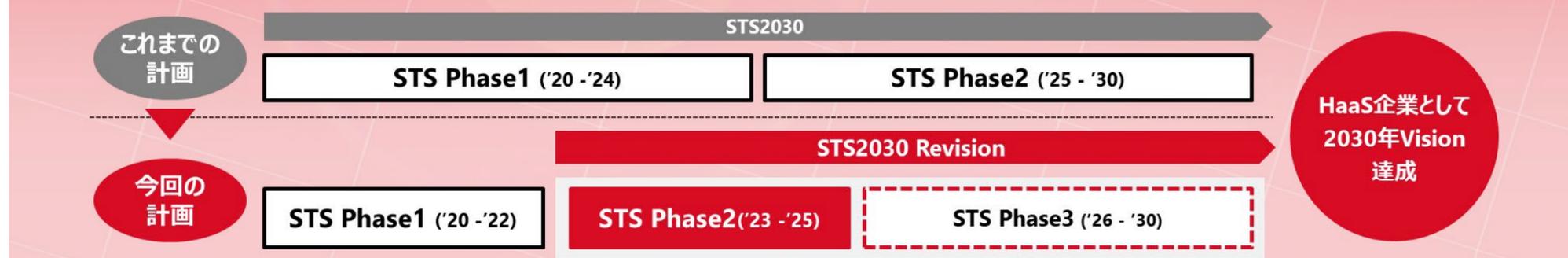
国内医療用医薬品の売上収益では、ゾコーバやインフルエンザファミリーの拡大、第1四半期にADHDファミリーのライセンス移管による一時金を受領したことにより、前年同期比188.8%の増収となりました。また、欧米におけるセフィデロコルの売上が好調に推移したことにより、海外事業は前年同期比15.1%の増収となりました。ロイヤリティー収入につきましても、HIVフランチャイズの売上の増加により前年同期比14.8%の増収となりました。利益面につきましては、特別早期退職プログラムを実施したことにより費用が大きく増加しましたが、すべての事業において増収を継続していることから営業利益は前年同期比247.6%の増益となりました。

STS2030を改訂した戦略：STS2030 Revision

2030年Vision実現への道筋をより明確にした新たな戦略

STS2030 Revision

- Shionogi Transformation Strategy 2030 Revision -



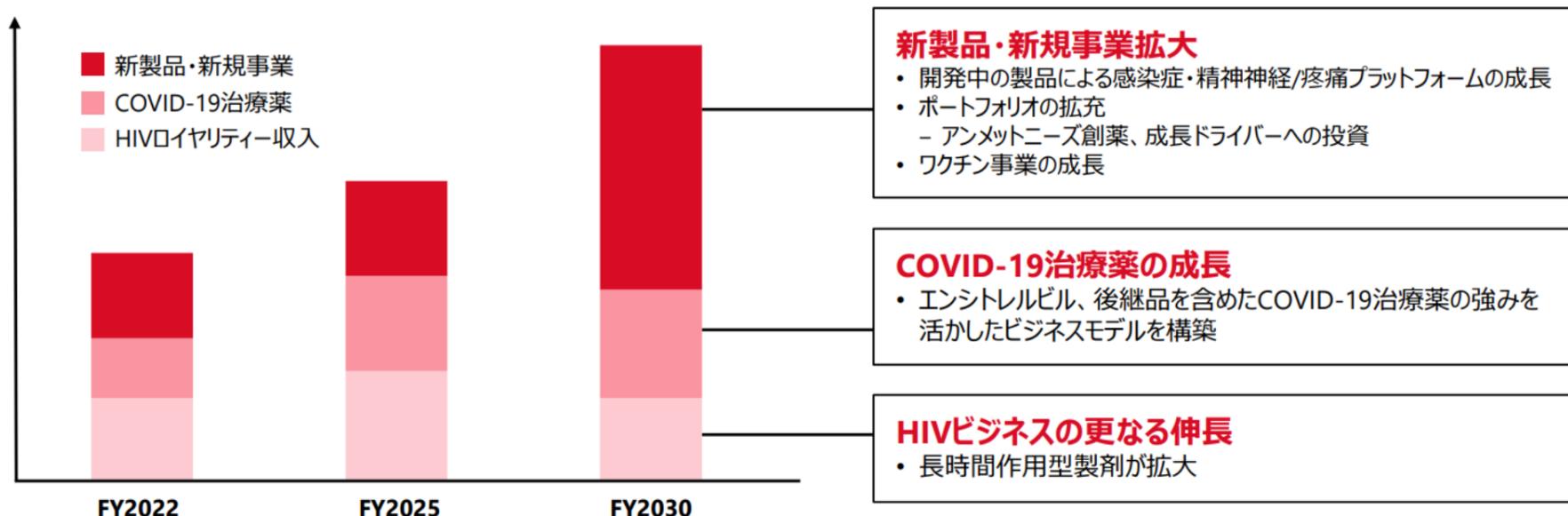
中期経営計画STS2030を公表してから3年が経過しましたが、この間に、全世界はCOVID-19のパンデミックによる社会・経済の混乱に直面しました。このような環境変化が起こる中、当社はビジネスの変革を強力に推し進め、「Transformation」の具現化に取り組んだ結果、COVID-19治療薬のゾコーバをこれまでとは全く異なるスピードで開発し、日本国内における緊急承認を取得するなど、創薬力を強化しました。一方で、不足している能力も再認識しました。グローバルに製品・サービスを届ける力、すなわち販売力、そして社会課題やアンメットニーズに応えるパイプラインなど、変革に向けて強化すべきポイントがより明確となったことから、STS2030 Revisionを策定しました。STS2030 RevisionにおいてもHaaS*企業へ自らを変革し成長していくことを目指すことに変わりはありませんが、STS Phase1は2022年度までに前倒しで終了し、2023年度から2025年度の3カ年を新たにSTS Phase2と位置付け、Transformationによる成長を加速してまいります。

* Healthcare as a Service: 医薬品の提供にとどまらず、顧客ニーズに応じた様々なヘルスケアサービスを提供すること

2030年Vision実現に向けた成長

「HIVビジネスのさらなる伸長」、「COVID-19治療薬の成長」そして、ワクチン事業を含む「新製品・新規事業拡大」の3点が成長の柱であり、SHIONOGIが優先して取り組む活動です。さらに、これら既存のアセットの成長に加えて、積極的な製品・開発品の導入を並行して実行することで、グローバルでの成長を目指します。

売上収益



主要なKPI（重視する評価指標）の見直し

- COVID-19治療薬やHIVパイプラインの成長・積極的投資による事業成長などにより、2030年度の売上収益を上方修正
- 積極的な戦略投資を促進するため、利益面の指標はコア営業利益からEBITDAに変更
- 株主還元指標として、一株当たりの利益を示すEPS、配当基準であるDOE、経営効率を示す基準であるROEを採用

	STS Phase1	STS Phase2		STS Phase3	
	FY2022	FY2023	FY2025	FY2030	
成長性指標	売上収益	4,267億円	4,500億円	5,500億円	8,000億円
	海外売上高 CAGR	—	—	50% <small>FY2022を起点とする</small>	15% <small>FY2025を起点とする</small>
	EBITDA	1,779億円	1,670億円	2,000億円	—
株主還元指標	EPS	621.31円	530円以上	600円以上	—
	DOE	3.9%	4.0%	4%以上	—
	ROE	17.8%	13.5%以上	14%以上	—

エンシトレルビル（国内製品名：ゾコーバ）、セフィデロコル（米国製品名：フェトロージャ、欧州製品名：フェトクロージャ）などの感染症薬を中心にグローバル市場における売上の成長を実現し、各年度の売上収益および海外売上高年平均成長率の目標を達成します。また、強固な財務基盤を活かしてさらなる収益ドライバーを確立するための研究開発、積極的な製品・開発品導入などの事業開発を実行することで、各経営指標を達成し、2030年Visionの実現を目指します。

感染症薬を中心としたグローバル展開と機能の強化

現状

マーケティング体制を整備

- 2020年からヘルスケア戦略本部を設置
- 国内を中心に顧客視点・エビデンスを重視したマーケティング体制

セフィデロコルをグローバルに展開

- アクセス拡大と適正使用の推進

今後の取り組み

「ゾコーバ」をはじめとしたグローバルプロダクト拡大に向けた体制整備

医療アクセス向上への取り組み

- Market Access、Government Affairs、Medical Affairsのグローバル統括

グローバル販売体制の確立

- マーケティング、サプライチェーンにおける4極連携
- マーケティング人材の強化：グローバル採用の枠組み整備

欧州

- 自社販売に限定せず国ごとにビジネスモデルを選択、効率的に供給国拡大

アジア

- 中国：新薬モデルへの転換・新薬成長実現
- ASEAN：早期市場参入

日本

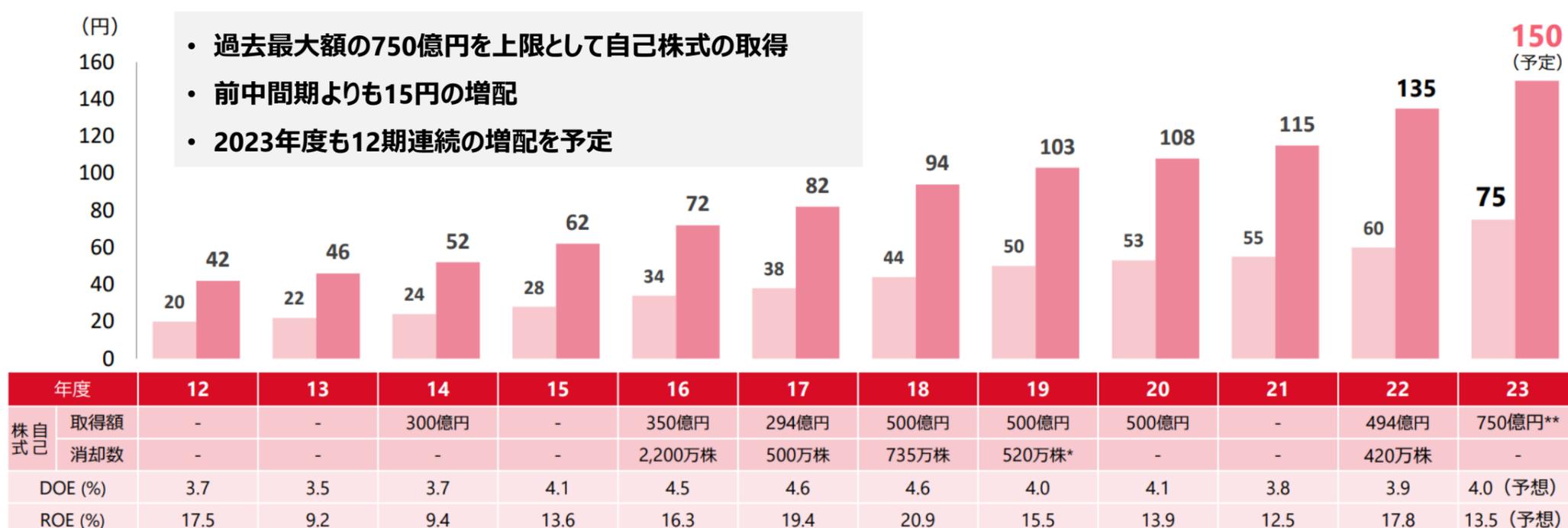
- 感染症リーディングカンパニーとして市場を牽引

米国

- 「エンシトレルビル」販売に向けた最適な販売組織の構築

セフィデロコルなどの自社製品のグローバル展開の拡大により、SHIONOGIはグローバル販売力を強化していきます。医療アクセス向上への取り組みに合わせて、Market Access、Government Affairs、Medical Affairsの各機能のグローバル統括を進めるとともに、マーケティングやサプライチェーンの4極（日本、米国、欧州、アジア）の連携を高めることで、強固なグローバル販売体制の確立を目指します。また、グローバル採用の枠組みを整備することで、マーケティング人材の強化を図ります。

配当と自己株式の取得と消却

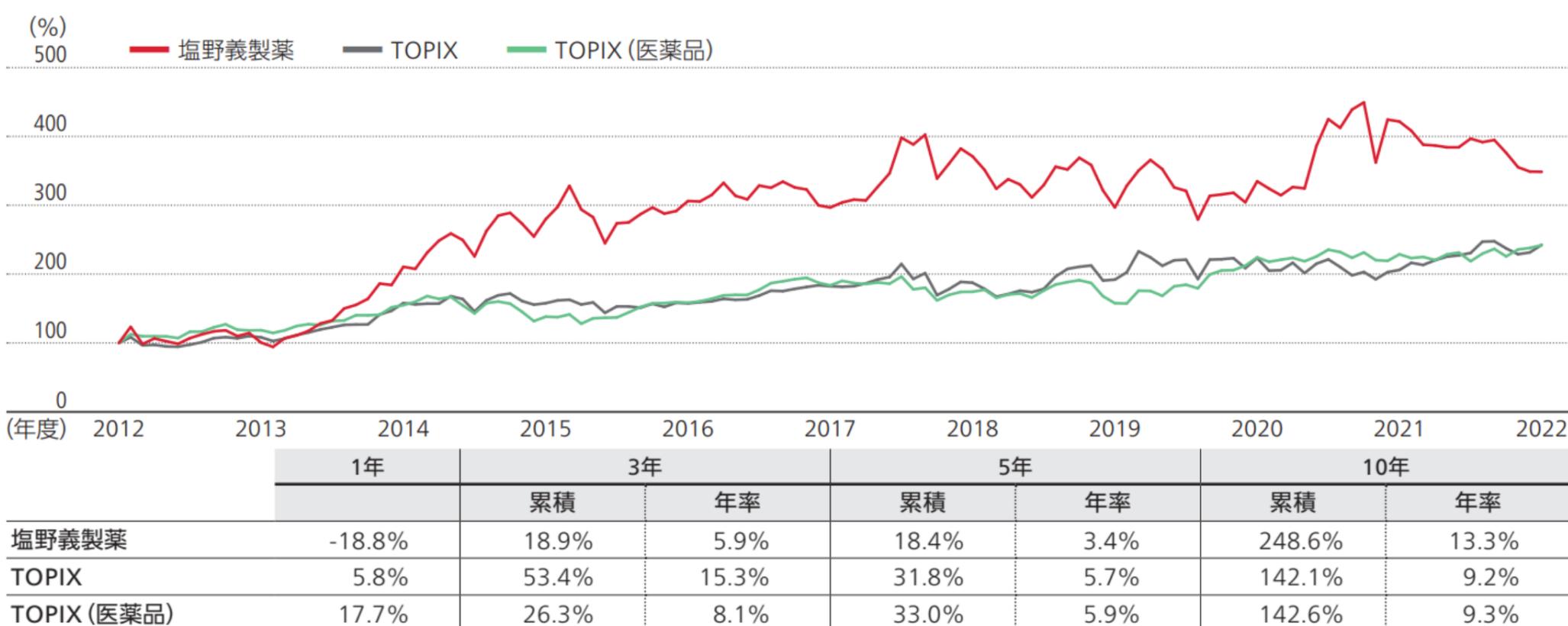


* 2020年3月30日決議、4月6日消却 ** 上限を750億として株式の取得を予定

配当金につきましては、今中間期は1株当たり75円となり、前中間期より15円の増配となります。また、現時点では年間配当150円を予定しており、12期連続の増配となる予定です。さらに、7月31日には割安に推移している株価水準や業績動向を勘案し、過去最大額の750億円を上限とする自己株式の取得と消却を発表しました。今後も、SHIONOGIグループの成長を株主の皆さまとともに実感していただけるよう、株主還元施策を進めてまいります。

株主リターンの増大

TOPIXをアウトパフォームする高いトータル・シェアホルダー・リターン



(注) 1 Total Shareholders' Return (TSR): 株主総利回り。キャピタルゲインと配当を合わせた総合投資収益率

2 TSRの計算は、塩野義製薬は累積配当額と株価変動により、TOPIXは配当込の株価指数により算出 (Bloombergデータなどにより当社作成)

3 グラフの値は、2013年3月末日の終値データを100としてTSRによる時価を指数化したもの (保有期間は2023年3月末まで)

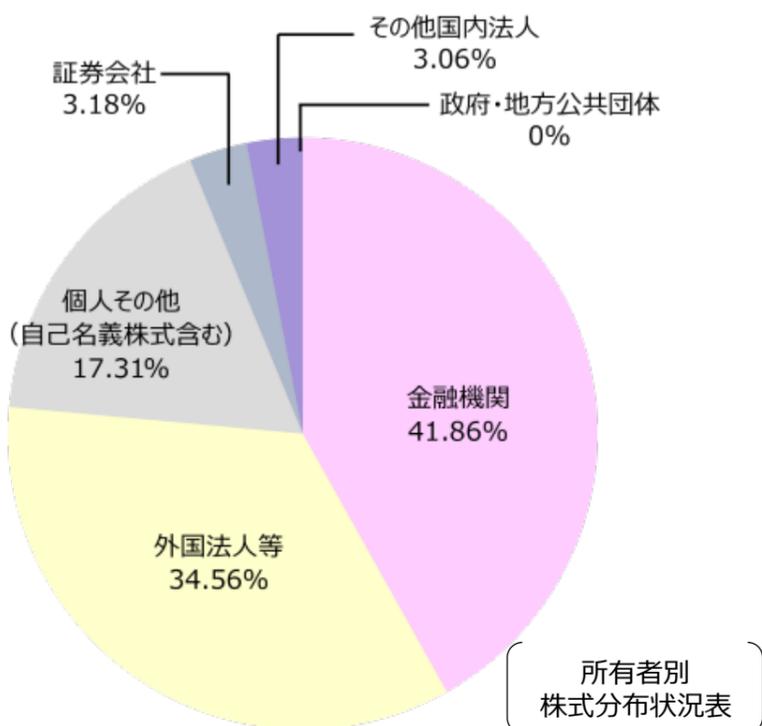
SNS公式アカウントと個人投資家向けIRサイトのご紹介

報道関係者や投資家、広く一般の方に向けて、ソーシャルメディアをはじめとする多様なツールを活用した積極的な情報発信に注力しています

 SHIONOGI	IRサイト 個人投資家の皆さまへ		 YouTube SHIONOGI	
	X SHIONOGI / @SHIONOGI_JP		 YouTube シオノギカナデ / Shionogi Kanade	
	Instagram SHIONOGI / @shionogi_official		有益な情報をお届けしています。 アカウントをお持ちの方はぜひご覧ください。	

株式の状況

- ◆発行可能株式総数 : 1,000,000,000株
- ◆発行済株式の総数 : 307,386,165株 (自己株式13,103,647株を含む。)
- ◆株主数 : 100,103名



株式メモ

- ◇事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇定時株主総会 6月
- ◇基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日
中間配当金:9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇単元株式数 100株
- ◇公告掲載方法 電子公告
当社インターネットホームページ(<https://www.shionogi.com/jp/ja/investors/shareholder-information/electronic-announcement.html>)に掲載しています。
- ◇上場証券取引所 東京
- ◇証券コード 4507
- ◇株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 (大阪府中央区北浜4丁目5番33号)
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページ) 三井住友信託銀行インターネットホームページ
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株主の皆さまへお届けしておりました「SHIONOGI BUSINESS REPORT」につきまして、2022年度にお伝えしておりました通り、インターネットの普及および地球環境への配慮の観点から、本年度より当社ウェブサイトでの開示に切り替えております。

過去のビジネスレポートはこちら [Shionogi business report | IR資料室 | 塩野義製薬](#)





あしたの感染症と、
たたかっている。

感染症がこの世からなくなることはない。
パンデミックも、きっとまた起こる。
だからこそ、SHIONOGIは逃げずに向き合い続けます。
その時私たちの創るワクチンが、治療薬が、
強く、強く、ひとつでも多くのいのちを守れるように。
薬ができることの、その先へ。